

埋設廃棄物もリサイクル

TEL/03-3208-5047

<http://www.shinwa-eco.com>

新和环境株式会社

詳しくはWebで

新和环境

検索

発行所

60_{plus4}

日報ビジネス 株式会社

Vision Vitality Victory

〈東京〉〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-1-5

電話03(3262)3488 FAX03(5214)6633

〈大阪〉〒541-0054 大阪市中央区南本町1-5-11

電話06(6262)2406 FAX06(6262)2090

2月1日 No.1522

2021年(令和3年)

週刊 月曜発行

発行人 河村 勝志

平成元年9月22日 第3種郵便物承認

購読料 年間 22,900円+税
(定価) 1部本体 495円+税

(第3種郵便物承認)

週刊 循環経済新聞

JUNKAN KEIZAI The Recycling Economy Times

委託契約書の電子化も

JEMSにおまかせください。

WEB説明会実施中!

フリーダイヤル エコなしくみ

0120-857-493

ITで環境問題に挑む

JEMS

食リ発電で中京初進出

J&T環境

2022年度下期営業運転へ

バイオス小牧を子会社化

JFEエンジニアリンググループのJ&T環境(横浜市、露口哲男社長)は1月18日、バイオス小牧(愛知県小牧市)の全株式を、100%株主のアーキアエナジー(東京・港、植田徹也社長)から取得したと発表した。合同会社小牧バイオガス発電所の全持分も(一社)バイオガス発電から取得済みで、今後、両社の事業を引き継ぎ、20

21年度上期中に食品リサイクル・バイオガス発電プラント建設工事に着手する。J&T環境として新設する施設では名古屋市など小牧市周辺から排出される1日当たり最大120トンの食品廃棄物をメタン発酵処理し、発生するメタンガスを燃料に発電を行う。発電出力は最大1300キロワットで、年間想定発電量は、一般家庭約2

500世帯分に相当する最大1万1000キロワットを見込んでいる。JFEエンジニアリンググループとして手掛ける愛知県内のバイオガス発電事業は、豊橋バイオウィル(発電出力1000キロワット)に続き2カ所目で、J&T環境にとっては中京地区初進出となる。プラント着工後、22年度下期の営業運転開始を目指す。

バイオス小牧は、都市型バイオガス発電所開発のコンサルティング・エンジニアリング事業を手掛けるアーキアエナジーが、エネルギーの地産地消を掲げて17年3月に設立した。同年には、発電事業を担う小牧バイオガス発電所が設立された。

JFEエンジニアリンググループでは、今後も地産地消型の再生可能エネルギー発電事業を推進し、脱炭素社会づくりに貢献して参りたい」としている。

2021年度上期中に食品リサイクル・バイオガス発電プラント建設工事に着手する。

小牧バイオガス発電所の事業スキーム

